



メーター読取ソフト開発 JVCケンウッド製の エッジAIカメラと連携

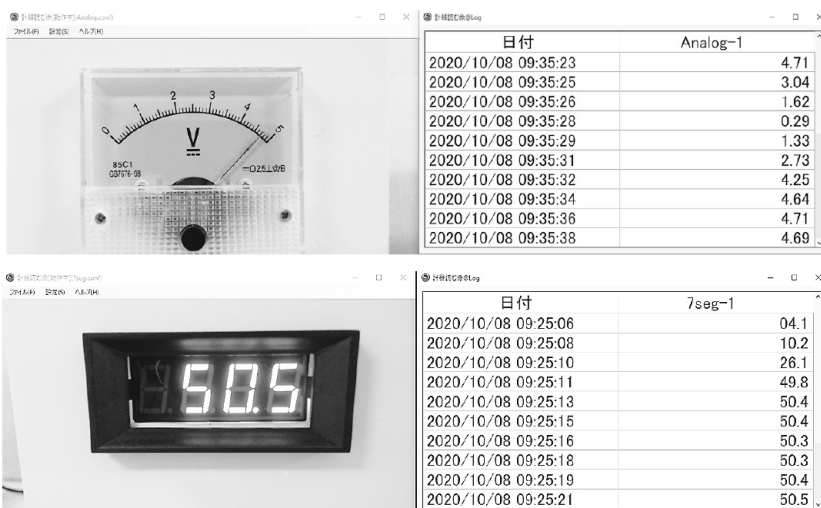
岩崎通信機

岩崎通信機は、メーター自動読み取りソフトウェア「計器読み像」を開発し、JVCケンウッドのエッジAIカメラを連携させたソリューションを提供する。FA向けで、年

内にはセットでの外販を
目指す。

計器読み像は、複数
メーターの目視確認な

ど、岩崎通信機が自社
工場の課題解決のため
に開発したソフトで現
在、工場内のメーター



アナログメーター
（上）やデジタルメ
ーの値を読み取り、
専用のビューアでロ
グ出力する

~~~~~

監視や電力使用量を予  
測する「デマンド計」  
の監視での実証実験  
（有償POC）を行っ  
ている。計器読み像を  
搭載したPCでカメラ  
のメーター画像を読み  
取り、数値を自動記録  
できる。

同社では「離れた場  
所のメーター監視や、  
しきい値超過のみの監  
視など、ユーザーから  
多くのアイデアをもら  
いながら、実証実験を  
進めている」としてい  
る。

サーバーやクラウド  
側で映像・画像のAI  
（人工知能）処理を行  
う従来型のカメラと異  
なり、エッジAIカメ  
ラはエッジ（カメラ内  
部）でAI処理を行  
う。処理結果だけをサ  
ーバーやクラウドに送  
信するため、処理スピ  
ードの向上と情報漏え  
いリスクの低減が期待  
できる。

協業では、オープン  
ソースハードウェアの  
ラズベリーパイを活用  
したエッジAIカメラ  
に計器読み像を搭載。  
カメラで撮影したアナ  
ログやデジタルのメ  
ーター画像を数値化し  
て、サーバーへ送信す  
る。

計器読み像との連携  
で、工場やプラント設  
備の保守点検で行う目  
視確認の労力軽減や手  
書きによる記録ミスの  
防止、人員不足対策な  
開する考えだ。

今後、FAシステム  
を提供するシステムイ  
ンテグレータなどの  
連携を探る。低予算で  
容易に保守点検の自動  
化や遠隔化を実現。ミ  
ス軽減や点検頻度の向  
上、蓄積データによる  
設備トラブルの予兆診  
断などで、工場・プラ  
ントのBCP（事業継  
続計画）対策に貢献す  
るソリューションを展開

開する考えだ。